

# 令和２年度 学校教育目標

- 日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
- 熊本県教育大綱
- 第２期くまもと「夢への架け橋」教育プラン
- 熊本県教育委員会各課取組の方向
- 熊本の学び推進プラン
- 玉名教育事務所取組の方向
- 荒尾市教育委員会学校教育努力目標

校訓：燦たり四中  
強い意志 豊かな心 確かな学力

## 教育目標

### 今、一生懸命

～郷土を愛し、この瞬間を一途に  
努力する生徒の育成～

#### めざす生徒像（こんな生徒に）

- (1) 先を見通し、自ら判断できる生徒（知）
- (2) 自他の思いに共感し、つながり合う生徒（徳）
- (3) 強い心を持ち、粘り強く取り組み行動する生徒（体）
- (4) 自ら気づき、粘り強く行動できる生徒（生）

#### めざす学校像（こんな学校に）

- (1) 生き生きとした活力にあふれる学校
- (2) 環境が整備された美しい学校
- (3) 愛情と信頼に満ちた学校

#### めざす教師像（こんな教師に）

- (1) 教育愛に満ち、感性豊かな情熱ある教師
- (2) チーム意識を持ち助け合い信頼される教師
- (3) 職責を自覚し、先生に会って良かったと思われる教師

#### 生徒・保護者・地域の実態

- （生徒の実態）
- 気持ちのいいあいさつができる生徒が多い。
  - 純朴な生徒が多く、素直に取り組む。
  - 全体的に男女も仲良く、協力して仕事ができる。
  - 基本的な生活習慣は年々向上している。特性を持つ生徒が多く、個に応じた支援が必要である。
  - 周りに流される生徒が多く、一斉だとできるが自分で判断して行動する力はまだ弱い。
  - 家庭学習・生活習慣の確立が課題である。
- （保護者及び地域の実態）
- 学校教育への関心が高く、協力的である。
  - 一人親世帯、要保護・準要保護世帯が多い。

## 学校経営の基本方針

人間尊重の精神を基盤に据え、生涯学習社会の展望の上に立ち、地域の特性を生かした特色ある教育を展開する。その中で、生徒一人一人に豊かな人間性を育み、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒の個性を生かした自ら学び・考え・行動する力を育てる教育活動を推進し、教育目標の具現化に努める。

- 1 一人一人の人権を尊重し、いじめや不登校のない学校をめざすとともに、道德教育を推進し、心豊かでたくましく活力ある生徒を育てる。
- 2 学習指導要領の趣旨を生かし、将来を見据えた教育課程を保護者・地域と連携して推進し、生徒一人一人の「生きる力」の更なる向上に努める。
- 3 幼・保、小、中を見据えた生活・学習・生徒指導を関係する幼・保、小等と連携して進め、互いを認め合い、学ぶ楽しさを身につけた生徒を育てる。
- 4 一人一人が「分かる授業」を実感できる指導方法を工夫し、家庭学習へと結びつく授業を実践する。
- 5 全職員の共同体制のもと、チームの組織力を生かした働きがいのある職場づくりに努める。
- 6 保護者や地域との連携及び地域とともにある学校づくりに努める（ＣＳと地域学校協働活動の一体化）。

### 「学力向上」プロジェクト

- 1 「あらおベーシック」と「熊本の学び推進プラン」を取り入れた授業実践を行い、生徒の主体的な学びを支援する。
- 2 授業の流れを示すカードを掲示し、ＵＤの視点に立った授業を目指す。
- 3 「四中学校区学習名人」の周知徹底を図り、学習規律を身につけさせる。
- 4 基礎的・基本的な知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身につけさせる熊本型授業を推進する。
- 5 授業・自学タイム・家庭学習のサイクルを確立し、学習習慣を定着させる。

基礎的・基本的事項の定着  
先を見通した学習習慣の定着

### 「心づくり」プロジェクト

- 1 人権教育を根底に据え、安心して自分の思いを出せる学年・学級経営を推進する。
- 2 組織的な「愛の１２３運動＋１」を推進しつつ教育相談を実施し、いじめ・不登校ゼロを目指す。
- 3 様々な人々の生き方に学び、毎週の「特別の教科道德」の時間を充実させる。

いじめ・不登校ゼロ  
つながり合う人間関係づくり

### 「体づくり」プロジェクト

- 1 体育的行事を通じて、達成感や充実感を味わわせ、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
- 2 自他の命を大切にし、災害や感染症等に対する意識を高め、正しい判断や行動ができる生徒を育成する。
- 3 活気ある運動部活動の運営と積極的に運動に親しむ生徒の育成を通じて、体力の向上を図る。
- 4 食育の推進と望ましい食習慣の形成を図る。

運動意欲と基礎体力の向上  
粘り強く取り組む行動する教育

### 「生活充実」プロジェクト

- 1 「あそふじは心の鏡」（あいさつ・掃除・服装・時間を守る・話を聞く）ができる生徒を育成する。
- 2 ＰＴＡとの連携によるメディアコントロールを推進し、よりよい生活習慣の定着を図る。
- 3 学級を軸に、生徒会活動や委員会の活性化を図り、「自律」できる生徒集団を育成する。
- 4 自他の生命を大切にし、交通ルールやマナーを守り、安全意識の高い生徒を育成する。

「あそふじは心の鏡」の定着  
自ら気づき、自立を目指す生徒

### 本年度取組の重点

- (1) 何事も「今、一生懸命」に取り組む
- (2) 燦たり四中生活・自学ノート提出の徹底
- (3) 家庭学習へ導く「振り返り時間」の実践授業
- (4) 自尊感情、郷土愛を育成する道德実践
- (5) 「あそふじは」を徹底し、つながり合う人間関係づくり
- (6) 学級を軸とした生徒会活動の活性化

### 本年度校内研究 研究主題

自ら学ぶ意欲を持つことができる生徒の育成  
～『あらおベーシック』『熊本の学び推進プラン』  
を取り入れた授業づくりの実践～

個人研究主題（実態把握後主題設定、実践推進）

教職の  
実践  
研究